

今月のトピック

顔の見える連携を目指して 第2回複十字病院地域交流会を開催しました！

団塊の世代の方が後期高齢者となられる2025年（平成37年）に向けて、国を挙げて地域包括ケアシステムの構築が進められています。当院も、そのための準備を進めていますが、その中でも特に大切な、地域の関係機関の皆様との情報交換・交流をすすめる場として「地域交流会」を企画し開催しています。

今回は、2016年11月29日（火）に清瀬市生涯学習センター7階アミューホールで、「第2回複十字病院地域交流会」を開催しました。今回は、「当院診療トピックス」と題し消化器センター・乳腺センターを紹介させて頂いた後、講演①「救急隊と医療機関との連携」石黒 裕治先生（東京消防庁 清瀬消防署 警防課 救急係長兼二部大隊長）、講演②「患者中心の医療から、ひと中心の協同への転換～死難民の解消のために～」保坂 幸男先生（西都保健生活協同組合 北多摩クリニック所長）を講師にお招きし講演会を行いました。清瀬市を含む近隣地域の救急の現状や課題、これからの地域における終末期や看取りのあり方などについて学びました。



78施設141名の方にご参加をいただき、講演会の後、意見交換会としてワインパーティーを開催。参加された方々に交流していただき、盛会のうちに終了することができました。今後も関係機関との交流を活発にし、地域に貢献できる病院をスタッフ一同目指してゆきます。最後にご参加頂きました方々にこの場を借りて感謝申し上げます。

（第3回複十字病院地域交流会を2017年7月頃に開催予定）



【当日の配付資料】 地域情報交流シートを作成しました！

第1回地域交流会では、58施設様にご協力をいただきました。今回の第2回地域交流会では、69施設様のPR文書を取りまとめた冊子を作成しました。ご協力頂きました皆様ありがとうございました。

東日本大震災復興支援特別音楽会

「シャンソンの誘い」に参加して



（写真2）



（写真3）

平成28年10月1日（土）午後二時から上記特別音楽会が開催された。復興支援の意味合いから岩手県盛岡市在住のシャンソン歌手

佐々木絢子さんが招聘された。冒頭後藤元院長から挨拶があり、病院でのシャンソンライブは他に例がないと、当音楽会の意義が強調された（写真1）。それに応えるべく絢子さんも第一部はシャンソン、第二部は日本叙情歌と、特別プログラム組んで臨まれた。第一部では「時は過ぎていく」、「さくらんぼの実る頃」等計8曲を音量豊かに歌い、聴衆に感銘を与えた（写真2）。休憩時間絢子さんはフロアーに居残り、患者の間を回り、大層喜ばれた。結果絢子さんは休憩なしに第二部に入り、「朧月夜」、「里の秋」等計8曲を透明感溢れる美声で歌い上げ、数人の患者は涙を流しながら、聞き入っていた。患者さんからは熱烈なアンコールの声が続き、結局絢子さんは三曲選曲し、フロアーの期待応えた。その後当音楽会開催準備に奔走された渡部昌子看護部長から花束が贈られ（写真3）、情感に満ち満ちた特別音楽会は成功裏に終了した。



（写真1）

複十字病院倫理委員会外部委員 小苺米 清弘

登録医紹介



杉本医院

住所 〒204-0021

東京都清瀬市元町2-7-1

電話 042-492-1199

診療科 一般内科・リウマチ科・アレルギー科

URL <http://www.myclinic.ne.jp/sugi1199/pc/index.html>



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 8:00~12:00	○	○	○	○	○	○	×
午後 3:00~6:00	○	○	×	○	○	×	×

〈休診〉水・土曜午後、日祝

※H20年4月より午後6時以降増割増料金がかかるようになりました。6時までにご受診するようにしましょう。

診療予約 なし

順天堂大学を卒業後塩川内科に入局し、平成2年より清瀬に開業し、リウマチ性疾患と生活習慣病を主体に内科診療を行っております。

リウマチ性疾患に対しては、病院のリウマチ科との病診連携の基に、最新の治療を取り入れ、合併する呼吸器疾患や肝疾患に関しては複十字病院始め基幹病院に連携をお願いしており、良質な治療を提供できていると感謝しております。その他、変形性関節症等の疼痛緩和を目指し、漢方薬・鍼灸・マッサージ・物理療法も取り入れております。高血圧・脂質異常症・糖尿病・高尿酸血症等に対しても、病診連携後も患者様の生活環境に即した、栄養・運動・療養・服薬等の指導を薬剤師、日本糖尿病療養指導士、管理栄養士、看護師が対応できる態勢を取っております。地域のかかりつけ医とし、病気の診断・治療と共に予防医学にも力を入れております。全人的な立場から総合的・包括的対応を重視し、健康寿命を長く保ち、安心・安全な在宅生活を少しでも長く続けることが出来る様に通所リハビリ・通所介護を通じて、自立支援と生活機能維持・向上のお手伝いを致しております。

内科疾患に限らず、健康と介護に関する不安・心配等に対しましてもご相談下さい。各医療機関とも連携を図り、最善の医療を提供いたします。

二人の娘達もそれぞれ本人の希望する診療科に進み、お互いの情報提供が楽しみの一つになっております。これからも地域の皆様のお役に立つことができます様頑張っていきたいと思っております。



杉本 正邦 院長

さの やま だい すけ
真山 大輔

- 配属先／糖尿病・生活習慣病センター 糖尿病科
- 出身地／宮城県
- 出身大学、卒業年／東京慈恵会医科大学 2003年卒

▶大学卒業後の主な経歴

東京慈恵会医科大学付属病院で研修。
日本医科大学大学院に入学、卒業後
当院へ派遣。

▶専門医・認定医資格

日本内科学会認定内科医、日本糖尿病
学会専門医、日本内分泌学会専門医

▶趣味及び特技

スキー

▶患者さんへのメッセージ

糖尿病と甲状腺等の内分泌疾患を専門としております。お気軽にご相談ください。

みや はら れい こ
宮原 麗子

- 配属先／呼吸器センター 呼吸器内科／臨床検査部
- 出身地／福岡市
- 出身大学、卒業年／九州大学 2007年卒

▶大学卒業後の主な経歴

沖縄県立南部医療センター・こども医療センターで初期研修を修了後、長崎大学病院 熱研内科（呼吸器内科・感染症内科）に入局。博士課程に進学後、ベトナム、タイ、ガンビアなどで感染症の研究を行いました。2015年より長崎大学病院で勤務。

▶専門医・認定医資格

内科認定医

▶趣味及び特技

旅行

▶患者さんへのメッセージ

主に、結核診療に従事しております。長期入院や治療が必要となる患者さんが多いですが、継続して治療ができるように、診療、サポートしていけたらと思います。よろしくお願ひいたします。

各科紹介コーナー

薬 剤 部

薬剤部長 外山 真理子

2016年4月15日をもって薬剤科は薬剤部となりました。薬剤部は薬品管理科と病棟業務科から成り立ちます。薬品管理科は、法律や規則に従った薬の管理・過不足のない薬の購入・調剤・薬に係るデータの処理などを主に行います。病棟業務科は、入院患者さんが安心して治療が受けられるように薬の飲み方、効果、副作用とその対策の説明・指導を行い、その確認まで行います。さらに両科ともに使用薬剤の提案と適正使用への提言を行い、チーム医療に参加しています。

外来患者さんに院外処方せんを発行している当院では、お薬の説明や指導は調剤薬局さんが行ってくださいます。そのため、調剤薬局さんとは毎月会議を開き情報共有を心がけております。

これからも薬に関する間違いや事故が起こらないように注意し、安全に、より良い薬物療法が提供出来るように努力してまいります。薬剤部の窓口カウンターには【お薬相談コーナー】があります。入院外来を問わず、薬に関する相談や疑問がございましたらお気軽に声をおかけください。



院内全面LED化への取り組み

～本館1F照明をLED変更し明るくなりました！～

当院の本館は建築から40年が経過しています。

建築当時は、病院に暖かな光りを注いで輝いていた「間接照明」も、今では古ぼけて暗い印象を与えていました。そこで病院の顔である正面玄関フロア及び本館1Fフロアについて、各方面からのご協力により12月より照明のLED化を致しました。

LEDの明るさに加えて東日本大震災以来、節電対策として間引きしておりました箇所にも照明を灯した事により、正面玄関フロアはリニューアルされ、統一感のある明るいフロアに生まれ変わりました。患者さんの足元から優しい明るさを照らせるよう、今後は2020年までに院内全面LED化を目指します。

事務部長 瀧口 竜太

before



after



before



after





呼吸ケアリハビリセンター市民公開講座 | 3月4日(土) 時間▶ 14:00~16:00 場所▶ アミューホール

医療福祉相談室の紹介

医療福祉相談室長 富田 秀樹

医療福祉相談室には、社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員の資格を持ったソーシャルワーカーが4人在籍しており、患者さんやご家族、関係機関からのご相談をお受けしています。社会福祉の専門家として、患者さんにかかわる経済的・社会的・心理的な悩みなどの相談を受け、面接などを通じて問題解決のお手伝いをします。

さまざまな療養に関する生活問題について、患者さん・ご家族と一緒に考えながら解決していくのがソーシャルワーカーの役割です。患者さん・ご家族の生活や生活信条と向き合いながら相談しています。また、患者さんやご家族の悩みや・困難を、病院・地域全体で問題解決できる仕組み作りにも参画しています。

私たちはソーシャルワーカーとして、その人らしい生活を一緒に考えていけるよう日頃から心がけています。具体的な相談内容として以下、ご参照いただきご相談下さい。

- 医療費の支払い、生活費など経済的な心配
- 介護保険、生活保護、傷病手当金、障害年金等社会福祉制度の利用について知りたい
- 療養中の家族や家庭の心配
- 退院後の療養生活や療養場所が不安
- 頼れる親族がいないので、万が一の時に考えていたい
- 誰に相談して良いか分からず困っている

ご相談は、直接医療福祉相談室においでいただき構いませんが、面接で不在にしていることもありますので、事前にお電話でのご予約をお勧めします。相談内容の秘密は厳守します。まずは相談して下さい。

■ 受付時間

月曜日～金曜日 8:30から17:00

■ 電話

042-491-4111 代表

042-491-9237 直通



予約・紹介のご案内

■ 受付時間

平日 8:30~17:00 土曜日 8:30~12:00

■ 医療機関・紹介状をお持ちの患者さんのご予約

電話 042-491-9128 FAX 042-491-3553

■ 再診・初診(紹介状なし)のご予約

電話 042-491-6228

複十字病院

〒204-8522 東京都清瀬市松山3-1-24

代表電話 042-491-4111

代表FAX 042-492-4765

交通のご案内

■ 電車でお越しの方

- ・西武池袋線『清瀬駅南口』より徒歩12分
または、バス『南口2番乗り場』より3つ目『複十字病院前』下車
- ・JR中央線 武蔵小金井駅より『清瀬駅南口ゆき』バス『保育園入口』下車 バス停より徒歩5分

■ お車でお越しの方

- ・小金井街道『清瀬高校入口』信号を曲がり 西に300メートル
- ・所沢街道『全生園東』信号を曲がり病院通りを東北に2キロメートル